

堤防の桜に思う

運動場の向こうに見えるのは、堤防
その向こうには、清流長良川が

四十五年余り前の堤防で、
私たちは先輩の指導の下、校歌や応援歌の練習をした
男子生徒が、体操着の着替えをしていた
あの時、あの場所に桜の木があったのか、定かな記憶がない
記憶にないほどの若木だったということか

私たちが慣れ親しんだ校舎は取り壊され、
そこには、白く輝く新校舎が建つ
そして、堤防の桜並木は大きく育ち、
その存在を誇示している

今、春休み

見事に咲き誇る桜は、別れと出会いのはざまにあつて、
今年の岐高生を見ている

青空に向かって伸びる枝の先にはあの金華山が

変わるものと変わらないもの…

時は確実に、私たちの間を未来に向かって流れていく

岐阜県立岐阜高等学校 校歌

作詞 松平 静

作曲 伊藤栄治



せ じんのたけ き んかざん ひゃくりのみず な がらがわ
が かいのなみ あ らくとも き ぼうのきし と おくとも



か ようのけ んじ ここにうまれて こっかのためにあけくれまなぶ
か ようのけ んじ こころおおしくひゃくせつふとうつとめてやまず



ふ るへ ふ るへ ほこるさいこのれきしある わがこーこーの



ほまれをば あげよ も ろびと も ろとも ー に

挙げよ諸人

諸共に

我が高校の

誉れをば

誇る最古の

歴史ある

奮へ

奮へ

百折不撓

つとめて止まず

華陽の健児

心雄々しく

希望の峯

遠くとも

学海の波

荒くとも

国家の為に

明け暮れ学ぶ

華陽の健児

ここに生まれて

百里の水

長良川

千仞の嶽

金華山

岐高女校歌

一、ああすめらみ國榮ゆるみ代に
われら処女 生れあいたる章
胸の鏡と 日々にあふく
教への道の 勅語

二、見よ稲葉山の 姿は高し
われら処女 高く心を保たむ
国の御為に 人の為に
力かきり つくさはや

三、きけ長良川の 瀬の音は清し
われら処女 清く心とみかかむ
はけみいそしみ 探かたく
明るき微笑 うつくしく

姫小松

一、学びの庭の 姫小松

千代の操に たく(つゝ

植えしその日のめぐりきぬ

いとや 祝わん 諸共に

二、恵みのつゆに うろおし

みとりゆかしき 姫小松

いよよますますしけし

千代に八千代にせかえなん

藍水くらぶ

高木 あい筆

姫小松(創立記念日の歌)

あつたにのら かに りるはるし ちとりのみかき
るのこつ つ いよよますますしけし
いよよますますしけし

岐高女 校歌

あふく 胸の鏡と 日々にあふく 教への道の 勅語
見よ稲葉山の 姿は高し われら処女 高く心を保たむ
国の御為に 人の為に 力かきり つくさはや
きけ長良川の 瀬の音は清し われら処女 清く心とみかかむ
はけみいそしみ 探かたく 明るき微笑 うつくしく

目次

1	岐阜県立岐阜高等学校 校歌	
2	岐阜女校歌 姫小松	
4	挨拶「どうか楽しいひと時を」	同窓会 会長 水谷邦照
5	祝辞「同窓会総会」をお祝いして	岐阜高等学校 校長 丹羽章
6	挨拶「時空を超えるもの」へ	運営委員会 委員長 本田勝
7	総会・懇親会 次第	
議案・規約等		
8	第1号議案 平成26年度事業報告／第3号議案	平成27年度事業計画案
9	第2号議案 平成26年度決算報告	
10	第4号議案 平成27年度予算案	
11	平成26年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会	決算書
12	平成27年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会	予算書
13	岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約	
14	アンケート結果と今後の方向性	
18	過去から未来へ 絆をつなぐ	
19	特集 夢を形に	
20	〔特集1〕座談会	
	岐高生が語る未来	
24	〔特集2〕岐高生OB寄稿	
	未来へのメッセージ	



写真:ChubuSat-1(金シャチ1号)
田島宏康(昭57卒)氏提供

31	今を造るもの	
32	私たちの生きた時代	
33	恩師からのメッセージ	伊藤秀幸／井口日出男／鷺見邦隆／服部岩夫／辻泰 小木曾浩／竹中良典／加藤知之／飯尾誠太郎(故人・追悼文)
42	「同窓生エッセイ」	
	私たちのあのころ・このころ	
54	岐高だより(第118号 平成27年3月1日)より	
58	平成27年度大学合格者数	
59	会報協賛広告	
139	平成27年度 同窓会総会出席者名簿	
144	平成27年度 同窓会総会運営委員会名簿	
145	広告協賛の御礼・編集後記	





どうか楽しいひと時を

岐阜県立岐阜高等学校同窓会 会長

水谷 邦照

平成27年度の岐阜高等学校同窓会総会が多数の同窓生の皆様にご出席いただき、盛大に開催されますことを皆様とともに喜びたいと存じます。今年もまた、元氣な仲間にお会いでき、いろいろと交歓できま

すことを楽しみに致しております。さて、私は、昨年の総会で森川幸江様の後を受けて会長の役をお

おせつかり、早くも1年が経ちました。今後も本会の発展のお手伝いのできればと考えております。昨年6月には、在京（首都圏）岐阜高校同窓会の総会にも出席しました。その折には、首都圏にお住まいの旧知の皆様とお会いできたことはもとより、今岐阜高校に在籍する生徒会役員の2年生（当時）による現況の紹介が行われ、印象的

でした。彼らは青春真っ盛り、勉強や部活動に勤しむ現在の岐高生の様子を若い感性で伝えてくれました。伝統ある母校を立派に受け継いでいる姿を目の当たりにして、とても頼もしく感じました。

役員会で協議する中で、本会の運営についていくつか改革の必要があることが分かってまいりました。まずは総会会費を今年から1、000円値上げして9、000円と致しました。毎年の総会は、参加費のほかにも多額の広告費を財源としておりますが、運営委員会のご努力とは別に、広告費の伸びは将来的にあまり期待できません。ご理解をいただきますようお願いいたします。

また、今年の運営委員会からの提案により、これまでより多くの会員

の皆様と呼びかけるための新たな方法と、総会の運営に必要な財源を安定的に確保するため「協賛金」をより広く募ることを始めました。こうしたことについて、1年毎に運営委員会が変わる現状では継続的な検討ができないことから、同窓会の将来像に関わって総合的な見地から方向性をさぐるための検討委員会を設けました。近いうちに何らかの方向性が出せればと考えております。

最後になりましたが、本年度の総会の運営委員となられた昭和47年、昭和57年、平成4年卒業の皆様には、これまでの準備にご尽力をいただき、心から感謝申しあげます。ありがとうございます。



「同窓会総会」をお祝いで

岐阜県立岐阜高等学校 校長

丹羽 章

平成27年度の岐阜高校同窓会総会が水谷邦照会長様をはじめ役員・運営委員の皆様方のご尽力により、多数の会員の皆様方のご出席を得て盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、平素より本校の教育活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の総会を企画・運営いただきます本田勝運営委員長さんは、49年卒の私たちが岐阜高校に入学した時の、生徒会長であり、応援団長でいらつしゃいました。当時、遙か遠くから、憧れと畏敬の眼差しで本田先輩を眺めていたことを懐かしく思い出します。そして今、岐阜高校はその当時の老朽化した校舎等からは比べられないほどの、立派な校舎や体育館・武道館に改築していただきました。また、校舎前のプロムナードの整備やグラウンド・テニスコートの改修工事が行われ、全国にも誇ることできる教育環境が整いました。

そのような素晴らしい学習環境の中、本校の生徒たちは「百折不撓・自強不息」の校訓の下、文武両道をモットーに輝かしい歴史と伝統を受け継ぎながら、日々学習や部活動に励んでおります。今春の進路結果は、同窓会誌にお示しさせていただいた通りですが、部活動でも、運動系・文化系ともに限られた時間を有効活用して、各

種大会やコンクールで様々な賞を受賞するなど県内外で活躍しています。

具体的には、運動系で、硬式野球部が全国高校野球選手権大会岐阜大会において久しぶりに校歌を2回歌う機会を作ってくれました。また、県総体において、陸上競技部生徒が男子800mで2位、女子走り高跳びで2位、テニス部女子が団体3位、サッカー部、ソフトテニス部男子団体、卓球女子団体、剣道女子団体においてベスト16に入る活躍を見せてくれました。

文化系では、自然科学部生物班の生徒達が、全国野生生物保護実績発表大会において、環境大臣賞を受賞しました。また、吹奏楽部の生徒達が東海アンサンブルコンテストにおいて、木管八重奏並びに打楽器三重奏において銀賞を受賞しました。さらに書道部の生徒が全国高等学校総合文化祭に作品を出品、写真部の生徒が県総合文化祭写真展において最優秀賞を受賞、クイズ研究会の部員が全国高等学校金融経済クイズ選手権大会岐阜県大会において優勝し全国大会に出場するなどの活躍をしてくれました。

また、本校が重点事業としております、各都道府県から選抜された47の高校が競い合う「第4回科学の甲子園」に2年生の選抜メンバーが4年連続県の代表として出場しました。ありがたいことに、その熱心な活動が注目

され、NHK岐阜放送局が、生徒達の日頃の活動の様子や競技会場であるつくば市における生徒達の活躍の様子を、ドキュメンタリー番組として放映してくれました。一昨年度9位、昨年度2位で、今回総合優勝を期待させる大会でしたが、結果は残念ながら、10位でした。最後の競技である「登れ！筑波山」という自作のロープウエーによる実技競技で、予選断トツ1位ながら、決勝でアクシデントにより8チーム中8位であったことが、悔やまれます。大会後の採点結果を見ると、もし、予選のタイムで決勝を終えることが出来れば、総合優勝でした。来年度以降も「先輩に続け、後輩に繋げ」をスローガんに、悲願である全国優勝を目指したいと思えます。

このように、岐阜高校生は、皆さんの期待に応えるべく、いろいろな分野で大活躍をしています。今後とも、本校の教育活動に絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年度の総会のお世話いただきました本田勝運営委員長をはじめ、当番幹事の昭和47年、57年、平成4年卒業の皆様のご尽力に感謝するとともに、併せて会員の皆様方のご健康とご多幸、そして同窓会の益々のご発展を心から祈念申し上げます。挨拶といたします。



「時空を超えるもの」へ

平成27年度同窓会総会運営委員会 委員長

本田 勝

本日は、本当に大勢の同窓生の皆様にご出席を賜り、今年の幹事当番である昭和47年、昭和57年、平成4年の卒業生を代表して、心から御礼を申し上げます。また、本会報への広告協賛を頂いた方々や個人協賛金を送って頂いた方々にも深く感謝を申し上げます。

我々も母校にお世話になってはや四十数年、その頃の記憶もおぼろげになってきましたが、受験勉強の日々の中で苦しい青春を送っていたことは確かです。

毎朝、母が作ってくれる弁当を鞆に詰めて自転車で学校に走り、午前・午後の授業を真剣に聴き(？)、また自転車で家に帰る。生徒会活動や先生方のお話、そして何よりもこの高校で出会った多くの友との語らひは良き思い出ですが、私にとつてやはりあの頃は時間も空間もほとんど停まっていたように思います。

変化が現れたのは、母校を巣立つてからでした。

大学進学などを機に級友は全国に散らばっていききました。この頃から夏休みや年末年始に級友が集まり、岐阜、東京、名古屋、京都・大阪、そして九州、北海道などそれぞれの地での生活のことを時間を忘れて語り合ったり、旅に出たり、飲み明かしたりしたものです。

そのつながりは、社会人になってグローバルに拡がります。欧米、アジアはもちろん、遙かサウジアラビアの地まで。また、そうした遠くで暮らす連中が時間を作って集まるときも、その話題は上司や給料のこと、恋愛のこと、結婚のこと、子供のこと、社会や仕事のこと、定年後のこと、父母のこと、そして孫のことなどなど。歳を経るにつれ、あなたも40年の年輪のように何重にも厚く積み重なってまいりました。

おかげ様で、かつて岐阜高校でもに日々を過ごした多くの友とは、今や「時空を超える」絆(きずな)で結ばれていると言えます。

さらに今回は、この同窓会の運営委員会を通じて、今まで会うこともなかった10年、20年後輩の方々とも一緒に楽しく仕事をやる機会にも恵まれました。

こうして振り返るとーその昔自分が「岐高生」であったーということが今にしてかけがえのないご縁に思われ、心の底から感謝の気持ちがいっぱいあります。

この会にお見えになった皆様にとつても、本日は、懐かしい友人の方々と久しぶりに語らい、また新しい出会いが待っている大切な一日ではないかと思えます。行き届かないところも多々あるうかと思えますが、このひとときを心ゆくまでお楽しみいただければ幸いです。

平成27年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会 総会・懇親会 次第

平成27年6月14日(日)
於 岐阜グランドホテル

1 総会(11:00～11:25)

開会の辞

黙祷(同窓生で亡くなられた方々のご冥福を祈る)

同窓会会長挨拶 会長 水谷 邦照

学校長挨拶 岐阜高等学校 校長 丹羽 章

議案審議

第1号議案 平成26年度 事業報告

第2号議案 平成26年度 決算報告ならびに監査報告

第3号議案 平成27年度 事業計画案

第4号議案 平成27年度 予算案

閉会の辞

スライドショー『岐阜高校今と昔の物語』(15分)

(現役高校生の座談会と卒業アルバムより)

休憩(20分)

2 懇親会(12:00～14:00)

開会のことば 平成27年度同窓会総会運営委員会 委員長 本田 勝

鏡開き 乾杯 在京(首都圏)岐阜高校同窓会 会長 尾関 良平 様

祝電披露

恩師紹介

アトラクション

スライドショー 『岐阜の四季』

スライドショー 『旧校舎の思い出』

平成28年度同窓会総会運営委員会 委員長紹介 杉山 保幸(昭和48年卒)

校歌斉唱

閉会のことば 平成27年度同窓会総会運営委員会 副委員長 大平 高司

第1号議案 平成26年度事業報告

第1回役員会	平成26年 4月30日(水)	岐阜高校
同窓会総会	6月 8日(日)	岐阜グランドホテル
在京(首都圏)同窓会総会	6月29日(日)	東京ドームホテル
第2回役員会	9月10日(水)	岐阜高校
臨時役員会	10月28日(火)	岐阜高校
第3回役員会	平成27年 2月 2日(月)	岐阜高校

第3号議案 平成27年度事業計画案

第1回役員会	平成27年 4月30日(木)	岐阜高校
同窓会総会	6月14日(日)	岐阜グランドホテル
在京(首都圏)同窓会総会	6月27日(土)	ハイアットリージェンシー 東京
第2回役員会	9月16日(水)	岐阜高校
第3回役員会	平成28年 2月(予定)	岐阜高校

岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員

名誉顧問	古田 肇	昭和41年卒
顧問	杉山 幹夫	昭和20年卒
〃	野々垣 孝	昭和31年卒
〃	森川 幸江	昭和40年卒
名誉会長	丹羽 章	昭和49年卒
会長	水谷 邦照	昭和41年卒
副会長	大松 利幸	昭和40年卒
〃	木方 伸一郎	昭和46年卒
〃	木村 容子	昭和46年卒
〃	後藤 寿彦	昭和47年卒

副会長 (兼会計)	杉山 正裕	昭和49年卒
〃	遠藤 宏治	昭和49年卒
〃	村瀬 幸雄	昭和50年卒
〃	神谷 眞弓子	昭和51年卒
〃 (兼会計)	杉山 文康	昭和54年卒
監査	伊在井 みどり	昭和54年卒
〃	佐伯 淑子	昭和55年卒

第2号議案
平成26年度岐阜高等学校同窓会 決算報告

自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	2,790,062	2,790,062	
同窓会入会費	1,206,000	1,206,000	@ 3,000 × 402名
受取利息	363	379	普通預金利息
雑収入	0	19,000	同窓会名簿販売等
計	3,996,425	4,015,441	

支出の部

役員会費	50,000	67,285	3回、臨時役員会1回
慶弔費	50,000	1,350	祝電
祝儀、餞別	200,000	105,543	在京同窓会祝儀、退任役員感謝状関連費等
総会運営費	300,000	300,000	平成27年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	75,880	在京同窓会出席者旅費
通信費	10,000	5,923	在京同窓会へパンフレット送付等
ホームページ関連経費	200,000	117,756	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
手数料	10,000	4,428	振込手数料
校史資料室整備費	350,000	219,661	ビデオデジタル処理代、クリアブック等
雑費	0	9,252	講師を囲んでの昼食会等
次年度繰越金	2,726,425	3,108,363	
計	3,996,425	4,015,441	

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	2,305,428	2,305,428	
十六銀行株式配当金	529,234	482,678	株式保有数81,424株
受取利息	318	408	普通預金利息
計	2,834,980	2,788,514	

支出の部

次年度繰越金	2,834,980	2,788,514	
計	2,834,980	2,788,514	

【総会特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	3,528,717	3,528,717	
平成26年度総会運営費繰入金	1,200,000	1,200,000	運営費貸出金の返済金
平成26年度同窓会総会余剰金	-	1,788,792	平成26年9月受け入れ
受取利息	359	694	普通預金利息
計	4,729,076	6,518,203	

支出の部

平成27年度総会運営費繰出金	1,200,000	1,200,000	運営費一時貸出金
振込手数料	-	540	
次年度繰越金	3,529,076	5,317,663	
計	4,729,076	6,518,203	

上記の通りご報告申し上げます。

平成27年3月31日

平成26年度岐阜高等学校同窓会

会 計 杉山 正裕

会 計 杉山 文康



上記について関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを報告いたします。

平成27年3月31日

平成26年度岐阜高等学校同窓会

監 査 伊在井みどり

監 査 佐伯 淑子



第4号議案
平成27年度岐阜高等学校同窓会 予算案

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	3,108,363	
同窓会入会費	1,179,000	@ 3,000 × 393名
受取利息	379	普通預金利息
雑収入	0	
計	4,287,742	

支出の部

役員会費	50,000	3回
慶弔費	50,000	
祝儀、餞別	200,000	在京同窓会等
総会運営費	300,000	平成28年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	在京同窓会出席者旅費
通信費	10,000	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	200,000	管理料、ドメイン利用料等
手数料	10,000	振込手数料
校史資料室整備費	100,000	資料整理用品等
卒業記念品	1,100,000	文鎮 @ 405 × 2,500個
次年度繰越金	2,167,742	
計	4,287,742	

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	2,788,514	
十六銀行株式配当金	482,678	株式保有数81,424株
受取利息	408	普通預金利息
計	3,271,600	

支出の部

次年度繰越金	3,271,600	
計	3,271,600	

【総会特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	5,317,663	
平成27年度総会運営費繰入金	1,200,000	運営費貸出金の返済金
受取利息	694	普通預金利息
計	6,518,357	

支出の部

平成28年度総会運営費繰出金	1,200,000	運営費一時貸出金
次年度繰越金	5,318,357	
計	6,518,357	

平成26年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 決算書

自 平成25年9月1日
至 平成26年8月31日

1. 収入の部

(単位:円)

科目名	平成26年度		平成25年度		備考
	(予算)	(実績)	(予算)	(実績)	
本会預り金収入	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計より運営資金として
本会受入金収入	300,000	300,000	300,000	300,000	一般会計より総会費
会費収入	4,800,000	5,272,000	5,500,000	4,688,000	@8,000×659名
広告料収入	4,300,000	6,150,000	4,000,000	6,910,000	
祝儀収入	0	0	0	30,000	
会報販売収入	0	0	0	0	
受取利息	0	434	0	476	
合計	10,600,000	12,922,434	11,000,000	13,128,476	

2. 支出の部

科目名	平成26年度		平成25年度		備考
	(予算)	(実績)	(予算)	(実績)	
総会費	4,500,000	5,914,712	4,500,000	5,184,345	岐阜グランドホテル支払
懇親会費 謝礼金	150,000	40,000	150,000	80,000	懇親会アトラクション
印刷費	3,500,000	2,861,824	4,000,000	3,386,465	会報、総会案内状、封筒、払込票、その他
通信費	200,000	77,627	300,000	127,700	広告依頼書等発送費、電話代等
会議費	200,000	238,980	200,000	218,232	運営委員会、部長会会場代等
事務所費	100,000	50,000	100,000	180,000	事務所借り上げ代
事務費	150,000	51,613	100,000	157,530	文具代等
振込手数料	150,000	131,271	100,000	134,619	コンビニ収納手数料、経費の振込手数料
反省会費	300,000	474,425	200,000	550,510	反省会、次期引継ぎ会費用
活動費	100,000	0	100,000	0	
本会預り金返還支出	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計へ運営費預り金の返還
会費返金支出	0	24,000	0	79,000	現役岐高教諭会費半額返還 6名分
雑費	50,000	68,110	50,000	18,455	ホームページ更新料他
予備費	0	0	0	0	
余剰金	0	1,789,872	0	1,811,620	
合計	10,600,000	12,922,434	11,000,000	13,128,476	

上記の通りご報告申し上げます。

平成26年9月1日

運営委員長

木方 伸一郎

財務部長

嶋崎 吉弘

上記について監査をした結果、適正に処理されていることをご報告いたします。

平成26年9月1日

監 査

木村 容子

監 査

藤川 師弘

平成27年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 予算書

1.収入の部

(単位:円)

科目名	平成27年度(予算)	備考
同窓会 預り金	1,200,000	特別会計より運営資金として預り
同窓会 受入金	300,000	一般会計より総会費として
会費	5,400,000	9,000円×600名
広告料収入	4,000,000	
協賛金収入	0	参加者協賛金
企業協賛金	0	一般協賛金
運営三学年協賛金		
祝電	0	
受取利息	0	
会報販売収入	0	
合 計	10,900,000	

1.支出の部

(単位:円)

科目名	平成27年度(予算)	備考	
総会費	懇親会費	5,364,400	ホテル飲食代等
	謝礼金	0	アトラクション関連
印刷費	2,500,000	会報(1千部)、案内状、封筒、払込票ほか	
通信費	150,000		
会議費	30,000	会議は手弁当、会場費程度	
事務所費	0		
他雑費	300,000	事務費、振込手数料等	
反省会費	100,000	反省会、次期引継費用	
預り金返還	1,200,000	特別会計へ運営費預り金の返還	
会費返金			
余剰金	1,255,600		
予備費			
合 計	10,900,000		

岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約

- 第 1 条** (名称) 本会は岐阜県立岐阜高等学校同窓会と称する。
- 第 2 条** (目的) 本会は会員相互の親睦を図り併せて母校の発展に寄与することを以て目的とする。
- 第 3 条** (組織) 本会は次の会員を以て組織する。
- 正会員
- 岐阜県岐阜中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜高等女学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一高等学校卒業生
 - 岐阜県岐阜女子高等学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校併設中学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校卒業生
 - その他役員会の議を経て、会長の承認した者
- 特別会員
- 現職員・旧職員
- 第 4 条** (役員) 本会は次の役員をおく。
- | | | |
|---------|-----|-------------|
| 名誉顧問・顧問 | 若干名 | 役員会に於て推挙する。 |
| 名誉会長 | 1名 | 母校校長 |
| 会長 | 1名 | 総会に於て選出する。 |
| 副会長 | 若干名 | 総会に於て選出する。 |
| 監査 | 若干名 | 総会に於て選出する。 |
- 第 5 条** (役員の仕事) 役員の仕事は次の通りとする。
- 会長は会務を総括し、総会・役員会を招集し、その議長となる。
- 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。
- 会長・副会長は、会務の企画並びに会計に関することを行う。
- 監査は会計を監査する。
- 顧問は会長の諮問にこたえる。
- 第 6 条** (役員の仕事) 役員の仕事は2年とする。但し再選を妨げない。
- 第 7 条** (総会) 本会の目的を達成するため、毎年1回定期総会を開く。但し必要のある場合は臨時総会を開く。
- 第 8 条** (入会金) 正会員は入会金を納入する。
- 第 9 条** (経費) 本会の経費は入会金、寄付金等を以て充てる。
- 第 10 条** (会計) 会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わる。
- 第 11 条** (支部) 本会には支部を設けることができる。
- 第 12 条** (同窓会事務局所在地場所) 岐阜市大縄場3の1、岐阜県立岐阜高等学校内に置く。

(平成25年6月9日 一部改定)

岐阜高等学校同窓会 アンケート結果と今後の方向性

平成27年度岐阜高等学校同窓会運営委員会

平成26年度岐阜高等学校同窓会において、平成27年度同窓会運営委員会当番学年である昭和47年卒が中心となり出席者の皆様にアンケートを実施させていただきました。その結果と将来への課題について報告いたします。

岐阜高校同窓会は多くの同窓生に支えられ、毎年楽しく開催されている歴史ある会です。10年に一度の三学年当番制もうまく機能し、運営委員会に携わることは、達成感も大きく感動的な体験です。これをきっかけに幹事学年の絆が強まり、その後の学年会が盛んになるという効果も見られます。しかしながら、社会、経済、人々の意識が時代に連れて変化中、本会のあり方が時代にそぐわない部分が出てきたのも事実です。時代の変化に即した運営を考えていく必要があるということは運営委員会を経験した多くの人たちが感じることもあります。伝統は大切にしつつ、より良い会にしていくために、広く皆様のご意見を伺いました。

平成26年度岐阜高校同窓会アンケート

■ アンケートの主旨

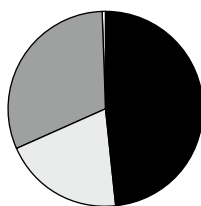
年一回の同窓会総会の運営費が、会費8,000円ではホテルへの懇親会の支払いだけでも(年によって違うが)少々不足する状態が続いており、運営費を考えると広告に大幅に頼らざるをえない体質になっています。しかし、社会常識の変化、企業倫理の変化に伴い、広告を集めるのがより大変な時代でもあります。また、広告が会報のページの多くを占め、高額な経費がかかっています。こうした課題を少しずつ解いていかないと、この楽しい同窓会を長く続けていけるのかという不安があります。こうした課題を解決していくための知恵を多くの方に寄せていただこうというのがアンケートの主旨です。

■ アンケート項目と結果

アンケートの総配布枚数は650枚、回収枚数は270枚、回収率は41.5%でした。以下、項目ごとにアンケート内容と結果を掲載します。

1 会費を2,000円値上げして、赤字体質を改善する。

- 1 賛成
- 2 反対
- 3 どちらとも言えない
- 4 無回答

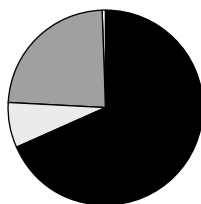


- 1
- 2
- 3
- 4

1 値上げ	合計数	割合
1	131	48.5%
2	54	20.0%
3	84	31.1%
4	1	0.4%

2 広告費ではなく、協賛して頂ける企業などから協賛金を募り、会報に協賛企業名の芳名簿を掲載。

- 1 賛成
- 2 反対
- 3 どちらとも言えない
- 4 無回答

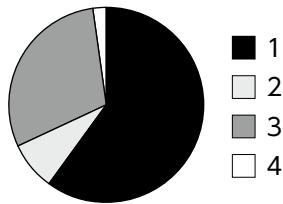


- 1
- 2
- 3
- 4

2 協賛	合計数	割合
1	185	68.5%
2	20	7.4%
3	64	23.7%
4	1	0.4%

3 総会の案内で広くサポーター協賛金を募集する(1口2,000円など)。会員は会報に芳名簿を掲載

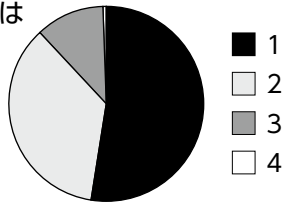
- 1 賛成
- 2 反対
- 3 どちらとも言えない
- 4 無回答



3 サポーター	合計数	割合
1	162	60.0%
2	22	8.1%
3	80	29.6%
4	6	2.2%

4 懇親会の会場形式について(高齢の方には学年幹事が料理を運ぶ対応をする。)(学年間交流の効果も期待)

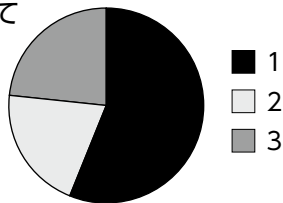
- 1 料理は卓盛でテーブルごと
- 2 テーブル席で料理はバイキング
- 3 どちらとも言えない
- 4 無回答



4 会場	合計数	割合
1	142	52.6%
2	96	35.6%
3	31	11.5%
4	1	0.4%

5 会報について、平年度は簡素なものにして会報費を削減し(例えば5年ごとに)特別号を発行する。

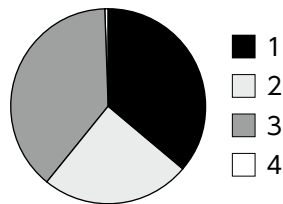
- 1 賛成
- 2 反対
- 3 どちらとも言えない
- 4 無回答



5 会報簡素	合計数	割合
1	152	56.3%
2	55	20.4%
3	63	23.3%
4	0	0.0%

6 当日の写真掲載の為会報の発行は総会終了後にする。

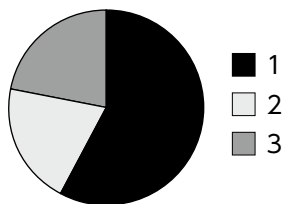
- 1 賛成
- 2 反対
- 3 どちらとも言えない
- 4 無回答



6 会報発行	合計数	割合
1	98	36.3%
2	67	24.8%
3	104	38.5%
4	1	0.4%

7 会報はメールでの案内希望の場合、印刷物を省略可。(デジタルデータで配信)

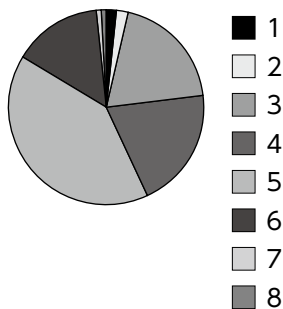
- 1 賛成
- 2 反対
- 3 どちらとも言えない
- 4 無回答



7 会報pdf	合計数	割合
1	156	57.8%
2	55	20.4%
3	59	21.8%
4	0	0.0%

8 あなたの年代をお伺いします。

- 1 ~20代
- 2 30代
- 3 40代
- 4 50代
- 5 60代
- 6 70代
- 7 80代~
- 8 無回答



8 年代	合計数	割合
20	5	1.9%
30	5	1.9%
40	52	19.3%
50	54	20.0%
60	110	40.7%
70	40	14.8%
80	2	0.7%
4	2	0.7%

ご意見

- 1 年会費制度にした方が良い
- 2 年会費を取ってはどうか、会社法人などが経費処理できるのか?
- 3 全卒業生から同窓会費用として2,000円徴収
- 4 事前に会費を振り込む場合8,000円、当日参加10,000円にするとか
- 5 行きの岐阜駅からのシャトルバスを出してほしい(複数あり)
- 6 同窓会費を一律年3,000円徴収するようにしたら如何か
- 7 会場での演奏は歌ではなく楽器のみの方が良い
- 8 会報のスリム化、皆さんと会えることが一番の目的
- 9 ホテルの料理代を下げたほうが参加しやすい、名札の氏名はもっと大きく見やすいと思う
- 10 バックミュージックが大きく話がしにくい
- 11 この質問は「手を抜く方法」ばかりの羅列で、もっと前向きに考えよう
- 12 アトラクションはなくていい
- 13 60才を迎えた者が、わきあいあいと旧交をあたためるのが主眼なのに、余分なことが多すぎる
- 14 2)③今は厳しいのでは…
- 15 1)の項目のご意見「私達の学年では黒字でした」
- 16 1)「赤字体質ではない」5)「会報は毎年出すこと」
- 17 1)について「値下げを検討する事」の意見
- 18 1)③年代によって異なる
- 19 24年度運営委員です
参加者のみでなく、広く会費(協賛金)制度にした方が良い
メールは良いと思うが、対象者が限られる、一度可能者の調査をしたら良い
印刷関係は業者を外して良い部分は、ネットで発注しました。数分の一ですみます。

以上がアンケートの内容と結果でした。

650枚のアンケート用紙は会報、当日資料を入れた角2の封筒に同封させていただき、ほぼすべての出席者に配布できました。さらに懇親会の中で平成27年度同窓会運営委員のメンバーが各テーブルを巡り、アンケートの主旨のご説明とご協力をお願いをさせていただきました。回収は懇親会終了後、受付に回収BOXを数箇所設置し、アンケートへの記入と回収へのご協力を呼びかけました。

回収枚数270枚、回収率41.5%というのは、予想を超えた高回収率だったと思います。アンケートを実施したことに対して、出席者の皆様の反応は様々でしたが、概ね好意的に受け止められたのではないのでしょうか。中には厳しいご意見、批判的なご感想を述べられる方もおられましたが、中には感激して「がんばってください」と声をかけてくださる方も大勢いらっしゃいました。

■ アンケート結果の考察

会費の値上げについては、2,000円という大幅な値上のご提案にもかかわらず、半数近くの方から賛同をいただきました。広告については過半数を大幅に超える方が何らかの改善の必要性を感じていることが伺える結果でした。会場の形式については多くの方がテーブル席で卓盛りをお望みであることが伺えます。会報については、経費削減の方向性は多くの方が賛成されている一方、会報の発行時期については票が割れました。

■ アンケート結果を受けた改善の取り組み

アンケートの項目は、私達の理解がまだまだ十分ではなく、必ずしも適切な質問ばかりではなかったと思いますが、同窓会のあり方について問題点を公にお示ししたことについては一定の成果があったと感じました。同窓会役員会への出席の機会を得て、役員会の皆さんも元々改善への取り組みの必要性を感じておられることが分かったのは大きな励みとなりました。

一方で、アンケートの結果は多数決ではなく、様々な考え方の方がおられ多様なご意見の現れであるということは忘れてはなりません。また、運営委員会で改善の為の具体策を話し合う中で様々な意見が出され、時にはぶつかり合い対立することもしばしばありました。そうした経験の中から私達は多くのことを学び、一致することが出来た考え方は、「決して無理をしないで、やれることから少しずつ改善し、長い年月をかけて改善していくための第一歩を踏みだそう」というものでした。

■ 主な改善点

- 1 まず懇親会の会費を1,000円値上げさせていただきました。2,000円の値上げに賛成された方は大勢おありでしたが、半数をわずかに切ったことを考慮しました。
- 2 同時に、同窓会運営に関わる様々な経費をあらゆる方面で出来る限り削減しました。また、岐阜高校の丹羽校長には、会議のための会場の提供を始めとする様々なご協力をいただきましたことを、ここでお礼を申し上げるとともにご報告させていただきます。
- 3 広告は必要性を感じていただける事業先を中心とし、無理な勧誘は慎む方向で確認しました。
- 4 (3の)代わりに昨年も実施された個人協賛金の募集を、運営委員会三学年を対象に強化し、一口1,000円からと少額ながら、広く、みんなで支え合える同窓会のあり方を模索しているところです。
- 5 同窓会のご案内について、メールまたは葉書によるご案内など、経費を抑えつつ、出来るだけ幅広い方々にご案内させていただき取り組みを行いました。
- 6 会場はテーブル席とし、料理は卓盛りとしましたが、毎年食べ残しが多く出ること、昼の会であることを考慮し、テーブルごとに質を落とさず量を減らすことで節約していきます。
- 7 会報については、充実した内容を目指しつつ、印刷費の節約を図れないかと様々な方策を考えましたが、発行部数の削減、印刷の質の見直しといった大幅な変更は、次年度以降に大きく影響するということもあり、今後の課題としました。

■ 今後の取り組み

以上の取り組みを元に、今年もご出席の皆様アンケートを実施させていただきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

また、今年は「決して無理をしないで、やれることから少しずつ」という基本方針の下、様々な改善を実施しましたが、次年度以降に残された課題も多く、その中には一年ごとに代わる運営委員会には荷が重いものも数多くあります。

今回の同窓会で実施した取り組みは、全て役員会にご報告し、問題意識を共有しながら進めてまいりましたが、その役員会の席で、積み残した課題は今後役員会の中に検討委員会を設置し取り組んでいこうという方針を示していただきました。大変な難しいことで、私共、平成27年度の運営委員会も出来る限りの協力をさせていただき所存です。

以上、アンケート結果と今後の方向性についてご報告させていただきます。

【会報部テーマ】

過去から未来へ

絆をつなぐ

一八七三年十一月四日
ここから、我が高校の歴史は始まる

明治建國の心意気は、

「百折不撓」と校歌にこめられ、
脈々と岐高生に引き継がれてきた

百四十有余年の歴史と伝統の重みが
現在を造り
未来を創る

過去から現在、そして未来へ
岐阜から世界、そして宇宙へ

活躍する者も
それを支える者も

等しくその役割を果たし、
未来への絆をつなぐ



柘植康英(昭47卒)氏提供

夢への挑戦

現在ある目の前の壁と苦しみと共に
溢れる涙は夢を叶える武器となる

里奈か 〇

書:白本 里奈(岐高生作品)

「特集」

夢を形に

未来を創るもの、それは夢

わたしたちは、どんな夢を思い描いただろう
そして今、どんな夢を見ているのだろう

いくつになっても、夢をあきらめない

いつまでも、夢を見続けよう
いつまでも、夢を追いかけてよう

現役岐高生も、岐高生OB、OGも
未来を夢見る

【特集1】

「座談会」

岐高生が語る未来

.....

20～23頁

【特集2】

「岐高生OB寄稿」

未来へのメッセージ

.....
24～30頁

座談会

岐高生が語る未来

(収録日時) 平成27年2月26日

(会場) 岐阜高校

(参加者) 武藤快さん 森井裕貴さん

大坪翔さん 平田菜々恵さん

(進行) 折戸広昭会報部長 (昭和47卒)

(収録) 鬼頭明彦事務局長 大原信子編集委員 (昭和47卒)

三月一日の卒業式を前に、進学先が決まっている岐高生四人が集まっていた。ただ、高校生活の思い出、将来の夢、未来への展望について語ってもらいました。

卒業式前、今の心境は…

大坪 入学したのが去年というくらい感じで、あつという間でした。少し寂しい気もしますが、大学生活が楽しみで、大学に進学しても頑張りたいという思いです。



平田 菜々恵さん
岐阜大学医学部

平田 私もあつという間でした。卒業後はばらばらになってしまい、もうすぐみんなに会えないと思うと寂しい気がします。

折戸 あつという間の高校生活は、勉強や部活動で忙しかったと思うの

ですが。

武藤 岐高生は、切り替えがうまいんですよ。遊ぶ時は思い切りはじけるし、勉強する時は思い切り勉強するし、切り替えのうまさがあるから、各行事も目いっぱい楽しめます。特に、文化祭は、夏休み前からずっと練習や準備を積み重ねてきました。3年生は劇をするんですけど、やり終えた後は、自然と涙がこぼれ、近くの仲間と抱擁を交わしたりしました。そういう達成感みたいなものを味わえたから、あつという間だったなあと思います。

森井 そうですね。文化祭はクラスで(集中して)ばあつとやって感動した。高校時代は、そういうことが大切だと思う。サッカー部だったんですが、授業を受けて、放課後、部活に打ち込むという感じで、ぼうっとしている間がなかった。何かに打ち込める時間が続いたので、早かった。

新しい校舎の印象は…

武藤 新しくなったというか…、旧校舎を知らないんです。高校見学に来た時に、すごくきれいだなと思いました。実際、清潔感があって学び

に集中して取り組みます。テラスは開放感があって、昼休みには(理系は1階だから…笑)、文系は階が上なので、そこで昼ごはんを食べたりしていました。

平田 私は、部活が終わってから特別棟にある自習室を使っていたのですが、集中して一人一人が勉強できる所で、机も広く、きれいなので好きでした。

大坪 僕は陸上部ですが、自主練で筋トレをしたくて、トレーニングルームをよく利用しました。他の高校よりも充実していると思います。バベルみたいなものも、数多くあり、いろんな部位を鍛えることができます。



大坪 翔さん
筑波大学医学部

森井 サッカーの練習は毎日グラウンドでしたが、在学中にグラウンドの改修工事があり、水はけがよくなった。雨降りの日でも、その日に練習ができ、本当によくなったなと

いう印象がある。

武藤 (剣道部ですが) 道場が広いんです。OBの方は、教室を一つ借りてやっていただけ聞いていました。二つ上の先輩の時代はまだ工事中だったので、多目的ホールの舞台の上を使ってやっていました。それこそ足を踏み込むと痛くなるとか。今は、すごく広い道場で、それを生かした練習とかもできます。

思い出に残る授業:

平田 家庭科は衝撃でした。

武藤 家庭科の授業は、1年生は絶対通らなければならぬ(笑)。夏休みの課題、ホームプロジェクト(ホムプロ)にすごく力を入れていました。友達と話していて「お前、どれだけ(課題)終わった。」と聞く。「おれ、ホムプロ終わったよ。」「お前、すごい。終わっているやん」。他の教科が終わっていないなくても、ホムプロが終わったらすごいということになるくらい重くのしかかってくる課題でした。しかし、そのおかげで裁縫の力とか料理とかも身に付いたかなあと思います。一人暮らしをこれからすることになるけれど、生かし

ていけたらいいなあ。今となっては感謝しています。

森井 (ホムプロは) 自宅に畑があるので、おじいちゃんが育てている夏野菜を使って、健康増進のため、いろんな料理を作りました。(折戸大変でしたね。) 大変ですよ。完成した時は、結構達成感がありました。



森井 裕貴さん
慶応大学法学部

大坪 僕のテーマは「介護」だったので、祖父の病院とか施設に何度も行って、介護の仕方とか取り組み方をまとめました。

平田 私は曾祖母が、ものがあまり食べられなくて、十分に食事ができなかったので(ホムプロの課題にして)作ってあげてました。

学校生活の思い出:

武藤 林間学舎。(あーあ、林間学舎、なつかしい。) 1年生の夏休みに行くんですけど、そこで一気に仲良

くなれる。

折戸 そうですね。私たちもみんな行きました。

鬼頭 卒業生も行けるんですよ、8月になると。僕たちは10年以上毎年行っている。煙突があつて、あそこでバーベキューパーティーをする。(あー、いいですねえ。) 卒業してからも行けますよ。

折戸 焼岳に登られましたか。

武藤 (僕たちは乗鞍に)登りました。

折戸 山に登る。変わらないですね。

え。山の家つて忘れがたいですね。

鬼頭 (林間学舎ができたのは) 僕たちの少し上の代からで、本当に新しい頃だった。外観は8階建てに見える(笑)。外から見るとすごいと思うけど、中に入ると「あれっ」という、あのギャップが!...

平田 コンクリートむきだし!...

それから、2回ある球技大会(も印象に残っている。)

鬼頭 球技大会、2回もやるの。へーえ、すごい。

武藤 前期と後期の2回あります。

平田 後期はつい最近、先週の金曜日にありました。3年生は参加して

いないけれど。

森井 校歌も。(武藤 ああ、校歌、

好きだ。) 伝統を感じる。

折戸 「百折不撓」、何回折れ曲がっても元にもどるという、あなた方も息づいていると思います。だんだん歌わなくなると思いますが、今度の卒業式がある意味最後になるので、大きな声で歌ってください。どこかでまた聞くと、ジーンとなると思います。

武藤 野球の応援の後に歌う校歌は気持ちがいいです。



武藤 快さん
早稲田大学政経学部
26年度前期生徒会長

折戸 勝たないと歌えませんか。

武藤 今年の野球部は、惜しかったよねえ。(うん。)

折戸 野球部もますます強くなりま

夢を育み、夢を形に:

武藤 (大坪、平田に向かって)、医学部に入って何科の医師になりたい

いか決まっているの。

平田 まだ、はっきり決まっていな
いけれど、内科系(を希望している)。
人の気持ちを考えられる医師になろ
うと思います。

大坪 志望理由書には、おばあちゃ
んがアルツハイマーで亡くなったの
で、その研究医になりたいと書きま
した。今のところはそれを研究して
いくのか、脳外科としてやっていく
のか、いろいろ考えているところだ
す。

武藤 脳外科とかは、手先が器用
じゃないと無理だね。(ああ、そう
ですね。)医学部に行く友達がいる
けれど、家庭科の時間とか見ている
と、こいつは無理だなどと思って内科
を勧めたんだ(笑)。

大坪 (医師に) なると思ったら外科
系がいいかなと思っています。人が
救える腕がある医師になりたいで
す。

武藤 森井くんは法学部に行くん
だったね。将来は何になりたい。

森井 僕は、法曹界というよりも法
律の知識をしっかりと身に付け、大手
企業とか官公庁で行政に携わりた
い。社会の仕組みの中で企業とかを
バックアップできるような仕事をし

たいと思います。

武藤 僕の今の夢は、政治家になる
こと。政治家になって一番の目標は、
ざっくりだけど、世界的な平和の
実現のために貢献したいことです。

今、ニュースでイスラム国のことと
かやっているけれど、そういうこと
ろに発揮できる力って、やっぱ政治
の力が大きいと思います。人間とし
て生まれて、教育も受けられない子
たちもいる。そういう状況を生み出
さないためにも、政治家になってな
くしていきたい。そういう世界を作
りたいなあというのが一番の目標で
す。

折戸 いつ頃からそういうことを思
うようになったの。

武藤 じいちゃん、ばあちゃんか
ら、戦争の体験の話が聞かされたと
きに、平和って大事だなあと考えた
のがきっかけです。それから興味を
もって勉強をしていきました。かつ
ての日本の歴史を学んでいるうち

に、昭和時代、(特に)軍国主義の
政治体制が国民全体を巻き込んだ戦
争に突入していったと思いました。
その時々々の政治というのが、人の考
え方や生活全般にもすごく影響を与
える大きな力を持っているものだ

わかりました。その平和のために、
貢献できるのは政治の力だろうと思
い、政治家になろうと思っています。
武藤 5年後、10年後は何している
かなあ。



平田 5年後はまだ、大学生。10年
後は岐阜のどこかの中核病院でがん
ばって働いていると思います。

大坪 5年後は(まだ)学生ですけ
れど、筑波大学を選んだもう一つの
理由に部活があります。筑波大は(陸
上競技の)強豪校なので、そこで4
年生になる頃には、全日本の学生選
手権で表彰台に上れるような選手に
なりたいたいというのが夢です。10年
後は、卒業して医師になって4年で、
まだ未熟なので、腕を上げるために
頑張っているのではないかと思います。

武藤 夢は政治家になることです
が、(政治家には)いろんななり方
があるから、想像できない部分があ
るけれど、プラン1とかが結構あっ
て(笑)。一つはマスコミ界に入っ
て取材をしながら、一歩下がった視
点で日本という国全体を見て見識を
つけてから政治の場に行くというの
(方法)もあるし、卒業した後に議
員の秘書になってというのもありま
す。まだ、それはわからないから、
人事を尽くして天命を待つじゃない
けれど、大学で一生懸命学んで、政
治の道に入っていけたらいいなあ
と思います。もちろん5年後、10年後



ちに言いたいことがあれば。

武藤 僕は岐阜高校に入って本当に幸せでした。先輩方が脈々と受け継いできたよき姿、よき伝統を後輩たちにも伝えてこられたと思っと思っています。その伝統が途切れることはないから安心してほしいと伝えたい。将来立派な大人になって社会に出た時には、どうぞよろしくお願いします。

も一番なりたいたい姿は夢を追いかけたい自分でありたいです。

森井 5年後は、大学を出て就職している、1年目となる。企業に勤めるにしても、公務員になるにしても、自分の学んできた専門、法律を自分の武器にして団体の中でアピールできたらなあと思っっている。10年後はできたら出世して（笑）、大きな仕事ができるようになりたい。

先輩方、よろしくお願いします

武藤 最後に会報誌を通じて先輩た

平田 私も、岐阜高校に来て、伝統ということが一番感じました。先輩方が今の岐阜高校を形づくって下さったので、感謝したいです。もうすぐ高校を卒業するのですけれど、岐阜高校（を卒業すること）はすごく誇りに思えることなので、これか

らも誇りをもって頑張っていきたいです。

森井 僕も伝統に関する感謝と同時に、社会に出ると、岐高のOBの方々はいろんな分野にいらっしやると思うんですが、いろんなところで出会ったときによりしくお願いしますと伝えたい。



座談会を終えて…

座談会収録のために岐阜高校を訪れました。授業終了のチャイムがなり、教室から出てきた生徒たちとすれ違います。「こんにちは。」生徒たちの明るい声。見知らぬ来客にもごく自然に挨拶をしてくれます。

「今の子は…」と否定的に評されることの多い現代にあって、座談会は、すがすがしい岐高生との出会いの場となりました。勉強に、部活にと青春を謳歌する姿がありました。未来への可能性、躍動する若さのエネルギーに胸が熱くなりました。

これまでの本人の努力はもちろんですが、素敵なご家族が彼らを支えています。そしてこの岐阜高校の素晴らしい教育が彼らをここまで成長させた実感しました。

岐阜高校には夢があり、未来があります。岐高生が描く夢を、創りだす未来を、共に見続けていきたいと思っいました。

（文責 大原信子）

オリンピックツクへの夢

後藤寿彦（昭和47年卒）

野球少年の私が岐阜高校に入学した昭和44年はベトナム反戦歌が流行り、日本のGNPが世界2位になった年で全ての分野が発展期で有り日本中にエネルギーが満ち溢れていた。プロ野球は巨人の全盛期。夏の高校野球甲子園大会決勝では青森の太田投手率いる三沢高校と愛媛松山商業が延長18回引き分けの再試合をして日本中を沸かせた。私が3年間岐阜高校で甲子園を目指しつつ、文武両道を当然のように受け入れた貴重な人生の出発点でもあった。

あれから四十数年、神宮球場での早慶戦で青春を謳歌した大学時代、日本代表選手として戦った世界大会、母校慶応大学の采配を採った監督時代の厳しさと喜び、野球日本代表監督でW杯を戦った時は選手の一員である巨人の高橋由伸選手や中日の井端選手より私の岐高同級生の応援が多かったのが自慢である。その原点は全て岐高時代に起った夢へのチャレンジであったように思う。

還暦を過ぎた私にはまだまだ大き

な夢がある。2020年東京五輪で野球が正式種目に返り咲き、日本が金メダルを獲得することである。野球が正式種目になったのは、1992年のバルセロナ五輪からである。この大会はオールアマチュアで戦って日本は銅メダルを獲った。ちなみにこの大会で唯一の学生選手代表は現在侍ジャパンを指揮する小久保監督である。このバルセロナ大会は他国もアマチュア選手だけが出場、キューバが金に輝いた。1996年のアトランタはこれまた学生と社会人選手のアマチュア軍団で銀メダル獲得。2000年のシドニー五輪からプロ選手とアマチュアの混成チームとなったが初めてメダル無しに終わった。そして2004年のアテネ大会、2008年の北京大会はオールプロのドリームチームが参加。長嶋監督、星野監督がそれぞれ指揮したが（長嶋さんは途中、病のため中畑監督代行が指揮）銅メダルがやっとで、ご存知北京五輪ではメダル無しとなった。

北京大会以降、世界の野球界はもめた。オリンピックへのアメリカ大リーグのメジャー選手不参加やWBC（ワールドベースボールクラシック）大会の誕生で世界オリンピック委員会（IOC）はついに野球をオリンピック競技から外したのである。2012年のロンドン五輪では我々日本の野球人はさみしい思いと共に大きな危機感を持った。特にアマチュア野球界にそれは強かった。スポーツにおけるアマチュアリズムの最高峰としてオリンピックが生まれ歴史を作ってきたが、プロ選手の参加はオリンピックの市場価格を引き上げたが、フェアプレーの精神を少し忘れさせ、勝てば正義の結果主義を正当化させ、努力したら達成できるんだという成長の過程を軽んじた。来年2016年のリオデジャネイロ五輪大会前に東京五輪の追加正式種目が決まる。野球が選ばれるのはどうも確実であろう。野球界は本当の意味での全日本のプロアマ合同チームで参加し、アマ代表選手はアマチュアスポーツならではの意義や価値観をしっかりと世界に発信したものだ。私のオリンピックの夢は岐阜高校時代の私の夢でもある。



後藤寿彦 昭和47年卒

慶応義塾大学に進み、1975年の春季リーグ戦では戦後3人目となる三冠王を獲得。三菱重工三原監督、慶応大学監督、W杯、アジア競技大会、インターコンチネンタルカップ日本代表監督、西濃運輸総監督等を経て、現在はJリーグ日本硬式野球部総監督、朝日大学客員教授等。

教育は何を果たしてきたか、 これから何を果たすべきか

滝 充(昭和47年卒)

岐阜高校在籍時(昭和44年4月～47年3月)の記憶から、一つのエピソードを紹介したい。当時、他校の生徒が喫茶店等への出入りが禁じられる中、岐阜生だけは出入り自由であった。

先輩、それも平成生まれの皆さんからは、時代錯誤も甚だしい話との誹りを免れまい。だが、諸先輩の皆さんからは、「それが岐阜」という声が聞けるのではなからうか。

* * *

岐阜高校の特徴を表す言葉には、今も昔も、名門校、伝統校、トップ校などが用いられる。端的に言うなら、「学業成績が優秀な者が集まる高校」となる。だが、私の高校時代の感覚で言えば、学業成績優秀というのは、単にテストの点が良いという評価だけではなかったと思う。すなわち、学業が優秀な者ならば、それなりの分別がある、勉強に限らず世間の常識等も十分にわきま

えている、等の暗黙の期待(プレッシャー?)があり、それに応える形での誇りや自負心、責任感等が求められていたのだと思う。

だから、冒頭のエピソードというのは、近年の学園ドラマに出てくるような「エリートの特権」などではなかった。むしろ、近年流行りの言葉で言うなら「自己責任」を求められていたのだと言えよう。

つまりは、岐阜生ならば、度を越した行為、他者から非難されるような行為を軽々には行わないくらいの分別は持ち合わせているはず、という「大人扱い」だったのである。

* * *

時代が移り、社会が変化する中で、教育の方法も大きく変わる。教育の内容についても入れ替わる。従って、高校等の有りようも変わって当然である。しかし、学校が知識や技能等だけでなく、それらを行使するにふさわ

しい分別をも学ぶ場、試行錯誤を許された中で身につけていく場、という点については、過去も現在も、そして未来においても変わるまい。

ここで分別という語に込めている意味は、自分の言動が周り(目の前の相手、所属する集団、社会や地球環境等)にどのような影響を及ぼすか、ひいては自分にどう返ってくるのかについて、自分の知識や技能等を駆使して判断し、適切に行動しようとする姿勢、とでも言えよう。

もちろん、そうした分別は、まずは家庭や地域で、という考え方もあろう。しかし、良くも悪くもグローバル化していく中では、そうした狭い範囲に限定されない分別が求められる。少し難しく言うならば、異文化に対する寛容さと共に、自文化を他に伝える情熱を併せ持ち、共生を図っていける、そんな分別が求められる。

様々な場や機会で個々人が好きなように学ぶことができるようになってきたとしても、否、そうなれば余計に、学校という教育機関で時代に合った分別を学ぶ必要が出てこよう。

* * *

仕事柄、小中高等学校の子供と接することが多い。そこで受ける印象

は、二～三〇年くらい前と比べ、「3歳幼い」というものである。外見적으로는大人びていたり、大人顔負けの知識を持っていたりするものの、実年齢相応の分別を持っていない子供が増えた。

今は、一人の軽率な行為が、瞬時に世界に影響を及ぼしかねない時代である。教育、とりわけ学校教育は、それに応えていく必要がある。



滝 充 昭和47年卒

名古屋大学大学院教育学研究科博士後期課程満了。宮崎大学教育学部助教授を経て、現在、文部科学省 国立教育政策研究所 統括研究官。いじめ問題の研究に関する第一人者で国際研究プロジェクトにも参加。国際的に活躍中。

リニア中央新幹線が拓く未来

柘植康英（昭和47年卒）

昨年10月17日、私は国土交通大臣

室にて、本田勝事務次官（岐阜47年卒）立ち会いの下、一通の書面を太田大臣からいただきました。JR東海が12年後に品川―名古屋間の開業を目指す「超電導リニアによる中央新幹線」の工事実施計画に対する認可書です。宛名は、社長を務める私の名前。テレビカメラの砲列に囲まれ、フラッシュを浴びながら認可書を手にした時、多年にわたる関係者の労苦が偲ばれる一方、これから始まる建設に向けて身が引き締まる思いでした。

当社が自己負担による中央新幹線建設を決定したのは平成19年のことです。民間会社ですから健全経営や安定配当を維持することが大前提です。まずは名古屋まで建設し、その後体力を回復させて大阪まで延伸する、という2段階方式をとることにしました。国の審議会を経て、平成23年に国から営業主体・建設主体指名および建設指示を受けたのち、足かけ4年をかけ、膨大な環境アセス

メントの手続きを進めてきました。そして冒頭に述べた認可を経て、昨年12月17日に工事安全祈願式（「着工」を行いました。奇しくも、東海道新幹線が50歳の誕生日を迎えた昨年10月に中央新幹線の工事認可をいただいた事に、不思議な縁というか、深い感慨を覚えました。

リニア中央新幹線は、品川―名古屋を40分、そして大阪までを67分で結びます。意義は大きく分けて二つあり、一つは、首都圏―中京圏―近畿圏という日本の大動脈輸送を二重系化することです。現在この役割を担う東海道新幹線は開業後50年が経過し、将来の経年劣化や南海トラフ地震などの大規模災害に対する抜本的な備えが必要です。二つ目は、大幅な時間短縮効果により、3大都市圏が一つとなり、新たなビジネスやライフスタイルが生まれることです。首都機能の分散や地方活性化への貢献も期待できます。中央新幹線開業後に東海道新幹線の「ひかり」「こだま」の本数や停車回数を増や

すことにより、東海道筋のポテンシャルも高まります。

中央新幹線開業は、中京圏に大きな可能性をもたらします。2027年の中央新幹線名古屋開業により、まずは首都圏と中京圏が一体化し、世界に比類なき巨大都市圏となります。中京圏は製造業が主体であり、サービス業が主体の首都圏と補完関係にあるため、ストロー現象の懸念はないと思います。むしろ、立地コストが高く災害にも脆弱な首都圏から、交通インフラ、気候、生活環境等に恵まれた中京圏にビジネス機能の一部を呼び込むチャンスです。

岐阜県でも、県や県内市町村などからなる「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会」が昨年3月に産業振興・観光・まちづくり等に関する戦略を策定し、今年2月には、県と当社が、中央新幹線の円滑な建設とそれを活用した地域づくりに関して連携していくことで合意したところです。災害に強く、水や自然、観光資源や交通インフラに恵まれた岐阜県が、中央新幹線開業によって首都圏からぐっと近づくことで、企業立地や観光客の増加が期待できます。中央新幹線自体が観光資源にもなります。県土は広大ですが、アクセス

道路網が更に充実すれば、波及効果は県全域に及ぶでしょう。

いよいよ建設工事が始まります。建設にあたっては、工事の安全、環境の保全、地域との連携を重視して、丁寧に進めて行きたいと考えています。12年後に計画通り品川―名古屋間のリニア中央新幹線が開業し、多くの期待に応えられるよう、着実に取り組みたいと思います。



柘植康英 昭和47年卒

1977年東大経済学部卒、国鉄入社。85年新潟鉄道管理局人事課長。87年東海旅客鉄道（株）入社。02年取締役、06年常務、08年代表取締役副社長。14年4月より代表取締役社長。

宇宙産業の未来について

田島宏康（昭和57年卒）

私は昭和57年に岐阜高校を卒業した後、素粒子物理学研究のため名古屋大学理学部に入學しました。名古屋大学大学院では、当時素粒子実験で最先端だった半導体検出器の技術

を用いた全く新しいガンマ線カメラの開発に取り組んでいます。（ちなみにこのカメラは福島での除染において、放射性物質を可視化することにも役立ちつつあります。）

を身につけ、最近ノーベル賞を受賞された小林さんと益川さんの理論を検証するための実験（Bファクトリー実験と呼ばれています）に応用するため、米国のコーネル大学に5年間

名古屋に戻った後に着手したのが、衛星の費用を大幅に下げることです。衛星観測機器はどんなことがあっても動作させることが必要不可欠ですが、そのためには膨大な量の設計と検証が必要となり、先端技術を活用

の後日本に戻り、日本のBファクトリー実験で半導体検出器の開発に成功し、小林・益川理論の検証に成功したところで、宇宙から到来するガンマ線を観測するための衛星（フェルミ衛星）に搭載する半導体検出器の開発のため、平成13年（2001年）に米国のスタンフォード大学に異動しました。衛星が無事打ち上がり成果が出たところで平成22年（2010年）に名古屋大学に戻り、2015年度に打ち上げられる予定のJAXAのASTRO-Hという次期科学衛星に搭載する半導体検出器の技術

しづらい傾向があります。その様な状況を改善するために、大同大学や中部地方の航空宇宙産業中小企業の連合体と開発を始めたのが、超小型衛星 ChubuSat です。ChubuSat では、衛星を小型化し部品に既製品を用いることで、費用を大型衛星の1/100以下にします。そうすることで打ち上げ機会を増やし、新しい観測技術の導入を容易にします。つまり、ChubuSat は宇宙産業の未来にどんな意義を持つのでしょうか？ それを理解するためには、宇宙産業の現状を理解する必要があります

ます。メディアでも注目され一見華やかな宇宙産業ですが、その生産額は2000億円強で航空機産業（1・5兆円）の1/7以下、さらに中部地方の代表的な産業である自動車産業の1/100以下です。また、諸外国と比較した場合でも、米国の1/17、EUの1/4であり、米

は不十分です。そこで名古屋大学では、宇宙利用拡大を推進できる若者を養成し、宇宙産業以外の産業界に広く輩出するプログラムを進めています。また東海地方は、三菱重工、川崎重工、富士重工などの航空宇宙部門の生産拠点が存在し、ボーイング社のあるシアトル、エアバス社のあるトゥールーズとならぶ世界の航空宇宙産業の集積地で、日本全体の航空宇宙産業生産額の半分以上を占めており、「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」にも指定されています。こうした地の利を活かし、産学官が連携して東海地方に宇宙利用サービスを提供する産業を立ち上げていきたいと考えています。

こうした状況で宇宙産業を発展させるためには、民需による宇宙利用を拡大する必要があります。ChubuSat は、費用低減により宇宙利用の敷居を下げ、今までは困難だった用途への利用拡大を可能にします。例を挙げると、多くの衛星で地球を網羅する衛星網を利用した通信サービスは、衛星単価が下がることで採算がとりやすくなります。また、利用料を下げることで、一般消費者向けのサービスも容易になります。ただし、低価格の衛星を作るだけで、民需による宇宙利用が自然に拡大するのを待っているだけで



田島宏康 昭和57年卒

名古屋大学・太陽地球環境研究所教授。専門は宇宙線物理学。中部地方の産学が共同開発した超小型人工衛星「Chubu-Sat-1（金シャチ1号）」のプロジェクトマネージャー。

脳神経外科の現在と未来… 「脳を守り、脳を作る」

吉村紳一（昭和57年卒）

私たちの体には色々な臓器があります。心臓、肝臓、腎臓…。どれも重要ですが、脳はちよつと特別です。なぜなら他の臓器は移植で入れ替えられますが、脳だけは無理だからです。そう、入れ替えた瞬間から他人になってしまいますからね！つまり、私たちが生まれてからこの世を去るまで、自分の脳を使い続けるしかないのです。

しかし、脳はとても柔らかくて繊細です。お豆腐でできたコンピュータみたいなものです。ですから脳はヘルメットのように硬い頭蓋骨でがちりと守られています。病気がとなると話は別です。病気で脳が働きを失ってしまうと大変です。半身麻痺や言語障害、さらには目が覚めなくなってしまうことだってあるのです。

ですから、私たちは生涯にわたって脳を守っていかねばなりません。ただ困ったことに、脳を傷害す

る病気はとも多いのです。

たとえば、脳卒中という病気がその代表です。脳卒中は「脳の血管が切れて出血したり、血管が詰まって脳に血が行かなくなる病気」の総称で、日本人の国民病と呼ばれるほど多い病気です。ではどうすれば脳を脳卒中から守ることができるのでしょうか？

まず、なぜ脳卒中になるのかご存じでしょうか。「脳卒中は雷が落ちるように、何の前触れもなく、運の悪い人がかかる病気」と思われているようですが、それは違います。脳卒中には原因があり、前もって治療すれば予防が可能なのです。

例えば脳の血管が動脈硬化で徐々に細くなっているといいます。ただし、細いだけでは自覚症状はないのです。ですから多くの人は、動脈硬化の悪化因子である糖尿病や高血圧を放置してしまいます。そうすると、さらに血管は細くなり、いつの日か

詰まってしまうこととなります。

しかし前もって検査を受ければ血管が細くなっているのが見つかります。そうすると「これはマズイ！」と自覚して、糖尿病や高血圧をきちんと管理するようになります。薬を飲んだり、細い部分を風船で広げたりすれば、詰まる確率はもっと下がります。とにかく脳がやられてしまつたら元に戻すことはできないので、私たち脳神経外科医は脳を守ることに全力を挙げているのです。

では「未来」はどのようなのでしょうか？

実は最近、「脳は一旦傷害されると再生しない」という定説が覆されつつあります。私たち大人の脳でも神経細胞が新生していることが分かったからです。これを活性化すれば傷害された脳を再生し、症状を治すことができるかもしれません。私たちはこんな夢を持って研究に取り組んでいるのですが、いよいよ実際に臨床応用する直前まできています。現在の候補は脂肪組織の中にある幹細胞、脂肪幹細胞です。この細胞は培養すると神経系の細胞になることが分かっていますし、多くの栄養因子を分泌することが分かっています。これまでの研究で、脳梗塞に

なった直後の動物に投与すると神経のダメージが減少することが示されています。おなかに皮下脂肪が増えなくても落胆ばかりしなくていいのです！（笑）

「脳を守り、脳を作る」。この2つは人の命と人生がかかった大切な仕事です。とくに「脳を作る」治療の完成には長い時間がかかるでしょう。ですからいつの日か、後輩の誰かがこの仕事を引き継ぎ、さらに発展させてくれることを期待しています。興味がある方は是非お知らせください！



吉村紳一 昭和57年卒

兵庫医科大学・脳神経外科・主任教授。専門は脳神経外科学。日本脳神経外科学奨励賞受賞。メディア出演も多く、近著には「脳血管内トラブルシューティング」。

がん制圧のための基礎研究

萩 朋男（平成4年卒）

「分子生物学の未来について」というタイトルで原稿の依頼を受けましたが、岐高OBには著名な分子生物学者の先生が何名もいらっしゃいますので、恐れ多くてもそのような内容では書きませんでした。そこで、少しでも後輩の皆さんの進路選択の参考になればと思います、私がどのような経緯で今の仕事を選んだのかを書かせていただきます。

私は岐高を卒業後、名古屋大学工学部の応用化学科に進学しました。自然科学の研究者になりたいと考えたようになつたのは、中学国語の教科書で福井謙一先生の「広く学ぶ心」というエッセイを読んだからです。漱石の『夢十夜』に、運慶が仁王像を彫っている場面を見物する話が出てきます。無造作に彫り進める様に感心する主人公は、あれは仁王像を作っているのではなく、木の中に埋まっているのをただ掘り出しているだけだ、という話を耳にします。家に帰って片っ端から彫ってみたものの、仁王は出てこず、「明治の木に

は仁王は埋まっていないと悟った」で話が終わります。福井先生は「運慶が仁王を彫る手つきは無造作であるが、そのように見えるのは、木の中に埋まっている仁王を掘り出すかのような自然で無理のない創造がなされるからであり、自然科学もそうあらねばならない」と書かれています。

自然科学は、観測された現象を合理的に説明するモデルを構築する学問です。私は国語が苦手で、漱石の芸術的な表現など理解できなかつたところ、「自然科学は、運慶が仁王像を彫るがごとく」と明解に一言で述べられていたことに感銘を受けました。また広く学ぶことの大切さについて以下のように結ばれています。

「……文学に親しんだことは、自然科学に直接役立つたのではないにしても、漱石のこのような影響を思うにつけ、いろいろな意味で私の学問に対する姿勢に関与していること

を、振り返って気づかされるのである。人間、学ぶことに無駄なものも含まれていない。学んだことの何が、後になつてもものをいうかわかつたものでない。それゆえ、広く学ぶことが大切になってくるのである」

福井先生の言葉を時折思い返し、そのうちに化学以外の様々な分野の研究をしたいと考えるようになりました。大学院では様々な生命現象を分子レベルで説明を試みる分子生物学を学びました。西暦2000年にかけてヒトゲノム（遺伝情報）の解読が急速に進み、情報科学と分子生物学の融合の時代になりました。私は、大学院と博士の学位取得後のポストドクターの時代に、がんや老化など、遺伝情報をうまく維持できないために発症する様々なヒトの病気についての研究を開始しました。ゲノム解読装置（次世代シーケンサ）とコンピュータを使って患者の遺伝情報を解読し、生化学や細胞生物学的な手法で壊れた遺伝子の本来の機能を調べることで、なぜ病気になるのかを説明するモデルを構築します。現在ではゲノム解析技術が普及し、私の研究室のような小さなラボでも、ヒトの全ゲノム配列をわず

か数日で決定できるようになりました。技術の進歩は非常に速く、常に様々な分野の情報を統合して研究を進めていく必要が出てきています。

今年からは幸運にも母校に職を得て、名古屋大学環境医学研究所で新たに研究室をセットアップすることができました。がんの制圧は人類の悲願ですが、この大きな課題に向けて、少しでも貢献できるよう、今後研究活動を続けていきたいと思えます。



萩 朋男 平成4年卒

名古屋大学環境医学研究所・生体適応防御研究部門・発生遺伝分野・教授

専門は分子生物学と人類遺伝学ゲノム遺伝情報を安定に維持する分子メカニズムとその破綻により発症する様々な疾患（がんや遺伝性疾患）の病態解明研究をおこなっている。一緒に研究をしてくれる大学院生・ポスドク募集中。

アジアの時代

細野恭平（平成4年卒）

現在、ベトナムに駐在し、東南アジアを舞台に、大きく2つの分野で仕事をしています。

一つは、日本の大企業の海外事業戦略や、東南アジアの現地政府向けの地域発展戦略作りをお手伝いする仕事です。世の中一般には、戦略コンサルティングと言われていている仕事になります。これまで日本国内しか考えていなかった日本の大企業も、この数年で、アジアを含む海外への展開を本格的に検討する機会が増えました。ただし、日本企業のブランドや技術力だけで勝ち残れるほど、アジア市場は甘くありません。どうしたら、成長著しいアジア市場で、日本企業が戦っていきけるのか？ そのため戦略を、大企業の幹部と一緒に考えていく仕事は、今後も増えていくと思います。

もう一つの仕事は、ベトナムを中心とする東南アジア企業向けのファンド投資の仕事です。世の中一般では、PE（プライベートエクイティ）投資と言われます。ベトナム・インド・ミャンマーなどの新興国で、将来有望な企業を見つけ、投資をし、日本企業の紹介などを通じて企業価値を高めることが仕事です。現在、

運用しているファンドは、合計で150億円。新興国の経営者は、日本人が失いがちな、成長への貪欲さと、体全体から伝わるような勢いがあります。こうしたエネルギーと創造性にあふれた新興国の経営者は、今後、ますます増えていくでしょう。これらの仕事を通じて、アジアの未来について感じていることが、2つあります。

1 アジア新興国発のイノベーション
日本人は、まだ、アジアを後れていると見ている人が多い気がします。もう、その感覚はあらためる時期にきています。アジアの企業のイノベーションの速度は、目を見張るものがあります。

例えば、2014年9月、中国企業のアリババが、ニューヨーク証券取引所に上場しました。アリババは世界最大のEC（オンライン商取引）企業。売上高約9千億円、純利益約4千億円、流通量は32兆円で楽天の20倍近くと圧倒的なスケールです。時価総額は、約25兆円。トヨタの時価総額に匹敵します。

彼らは、基本サービスを無料で提供しつつ、高度な機能や特別なコン

テンツに対して課金するフリーミアムと呼ばれるビジネスモデルで大きく成長しました。新興国発のイノベーション・モデルです。今後、こうした新興国発のイノベーションは、どんどん増えていくでしょう。

2 アジアの経営者人材

この10年で、アジア新興国の経営者の質が、日本を凌ぐようになってきた気がします。

新興国では、多くの若者が、欧米に留学し、経営学や最先端のビジネスモデルに触れています。彼らは、母国に戻り、自らオンラインの会社を創業したり、あるいは、アジアに展開するグローバル企業でのキャリアを積んでいきます。年功序列の傾向が強い日本と異なり、完全な実力の世界。グローバル企業のキャリアを選択した人は、40歳ごろには、リージョナル（複数国）にまたがるディレクターを務め、数百人の部下を抱えていたりします。マネジメント能力を磨くのに必要な、多数の修羅場も経験しています。

一方、日本の場合、大企業だと40歳でやっと課長。部下は5人。海外初駐在で、今さらながら英語に苦勞していたりする。どこの日本の大企業も、海外の企業をM&Aで買収しても、経営者として送り込む人材がないと嘆きます。アジア新興国を含めたグローバルな経営人材に遅れをとらないように、日本企業の人材

育成の方法も大きく変えていかなければいけない時期に来ていると思います。

最後に、まだ高校生のみなさんに。僕にとって、岐阜はとても素敵な故郷です。

岐阜高校を卒業して、もう20余年。今でも、時々帰省する僕を温かく迎えてくれます。僕は海外で働く機会が増えたことで、かえって日本を学びました。そして、岐阜をより好きになりました。

みなさんの素晴らしい故郷を大切にしつつ、もし少しでも関心があるなら、世界で活躍できる人になってほしいなあと思います。



細野恭平 平成4年卒

（株）ドリームインキュベータ（DI）執行役員、DIベトナム社長。2010年よりベトナムに駐在。DIでは、大企業向けの戦略コンサルティング、アジア向けファンド投資などを担当。前職の国際協力銀行の当時から、新興国ビジネスに長く関与している。